



ゆうあい

校長ブログ→



学校教育目標：『在りたい自分を創る主人公』

2025 (R7) 年 12月12日
豊岡市立豊岡小学校 学校だより
No13 児童数324名

学校保健委員会から

- 12月4日(木)に学校保健委員会が開かれました。この会議は、学校医の先生方、PTA会長、保健体育委員長、学校関係者等が参加し、年1回開催されます。児童の健康増進や体力向上、望ましい教育環境等について、学校の報告の後、意見交流が行われます。あわせて学校医の先生方に専門的な立場から指導助言を受けることとしています。
- 学校からの報告では、保健からは身体計測の結果、保健室利用の実態について、体育担当からは、新体力テストの結果、熱中症予防の取組について、給食担当からは、食育指導の取組や給食の衛生面の指導などが報告されました。
- 学校医の先生方からは次のようなお話がありました。

- インフルエンザウイルスは手を通して口に入ったり、1~2mくらいの距離のエアロゾルを吸い込んだりすることで感染する。そのため手洗いやマスク着用が有効。医師の指示(学校保健安全法)によって、決められた日数登校は控えること。
- アレルギー性鼻炎の子で、頻繁に鼻血を出す、普段いびきをかかないのに鼻づまりによっていびきをかく等の症状が出たら、早めの受診をお勧めする。
- あごの成長に伴って、歯並びも整っていく。低学年で歯並びが気になれば、放置せずかかりつけの歯科の受診を。また低学年の歯磨きは、保護者が中心で行うことが望ましい。高学年の歯磨きも仕上げは保護者で。
- 近視になれば戻らない。治らない。集中したら、一定の時間目を休めるなど近視の進行予防が大事だ。ゲームやスマホなどは依存性があり、やめられない。家庭で保護者が指導・管理することが大切だ。
- 教室の二酸化炭素濃度、照度は適切だ。「オーバードーズ」(薬の過剰摂取)が問題となっている。孤独や疎外感、興味本位で、市販の風邪薬や鎮痛剤などをたくさん飲んでしまう。依存性があり中毒性が高い。薬物依存への入り口となり、心身が大きく傷つけられる。

- 詳細は、先日の保健だよりでもお知らせしました。
小学校の6年間は、子ども達は心と体が大きく成長し、変化に戸惑う子どももいます。一人一人の成長はその子の個性でもあります。自分の成長が楽しみになるように、指導を続けます。不安なことは保護者の皆さんや担任や養護教諭など、信頼できる身近な大人に相談出来たらよいなと思います。今後も学校と一緒に子どもたちの健康と安全の指導にあたっていきましょう。

異年齢での交流で縦の人間関係づくりを

□学校では学級という同じ年齢の集団の中で学習し生活しています。しかし、異年齢での活動を計画的に仕組み、人間関係を円滑にすることも目指しています。

実際、社会生活では、同年齢の人とよりも、異年齢の人との人間関係をつくって、生活していることがほとんどです。

□学校では、縦割り掃除を毎日行っています。高学年が黙々と掃除をしたり、下級生に指示を出したりしながら15分間の掃除を行っています。同年代と行うよりも、責任感が発揮され、また下級生は高学年へのあこがれも持つことができ、掃除をする以上により良い関係を築くきっかけになっています。校舎内で異年齢の子どうしが出会っても、笑顔で言葉を交わしたり、ハイタッチしたりするなどのほほえましい光景もよく目にします。先日は昼休みに縦割り班で一緒に遊び、より一層相互理解が進み、仲良く楽しい時間を過ごしました。子ども達には、いろいろな年代の人と、つながる楽しさを味わってほしいと思います。



みんなじゃけん列車



ドキドキばくだんゲーム

～登下校の安全についてご理解を～

多くの防犯ボランティアの皆様のおかげで、不審者の被害もなく、子ども達は安心して登下校しています。しかし、登校時はまだよいのですが、下校時はどうしても子どもたちの下校にばらつきができてしまいます。「学校を出る時刻をできるだけそろえる」、「途中遊ばずに速やかに安全に帰宅する」、「ボランティアの方にお礼とあいさつをする」など日々指導しているところです。

保護者の方からも、特に下校時の安全面とマナー面について、お子様にご指導くださいますようお願いいたします。

厳しい寒さの時も、防犯ボランティアの皆様が、登下校時に長時間見守ってくださいています。子どもと共に感謝の気持ちをお伝えしましょう。

ボランティアの皆様、本当にありがとうございます。